

令和6年第8回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年8月19日（月）
開 会 15時00分
閉 会 15時34分
場 所 横田庁舎 3階 大会議室
出席委員 福田教育長職務代理者 谷尻教育委員 松崎教育委員
小林教育委員

委員会事務局 高尾課長、江角課長代理、藤原指導主事

教育長

夏休み期間中ですが、各小中学校から児童・生徒の事故の報告は受けておりません。夏休みも終盤にさしかかっていますので、学校の課題にとりかかっている子どももいるのではないかと考えています。

○教育長諸般の報告

・馬木小学校への加配について

以前から県教育委員会に対して加配の要望をしていましたが、加配されることになりました。8月26日から馬木小学校で勤務していただきます。

・県の教育長会

県教育委員会教育長から手書きの学力向上のための御提案という資料が8月5日の県・市町村教育長会議において配布されました。この資料を校長会でも提示しながら学力向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。

・県知事要望

8月7日に町長、副町長、教育長、各担当の課長で要望いたしました。当日は、県教育委員会教育長が不在だったため、副教育長に対応していただきました。

○要望の内容

・横田高校の1学級30名、各学年3学級の維持について

現在、学級数に関して変更するなどの計画は考えていないと回答がありました。

・人員の配置について

現在、特別支援学級については、にこサボなどの配置をしていただいておりますが、特別支援学級に所属する児童・生徒が増えてきています。そのため、専門的な知識を有する特別支援教育職員等の配置を継続してお願いしました。

2030年に島根県で国スポが行われますが、それに伴い、技術力、競技力向上のた

事務局	め、指導者の配置をお願いしています。 ・学校給食の完全無償化について 国に働きかけながら進めていくというお話を聞きました。 参加者 4 名 ※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言 ※会議録署名委員 福田委員 議案第 6 号 令和 7 年度から令和 10 年度 中学校において使用する教科用図書の採択について【非公開】 ○報告事項 ・令和 6 年度全国学力・学習状況調査について ※資料により説明。 奥出雲町では、4 月 18 日木曜日に町内全校一斉に実施しました。対象の児童・生徒数は、小学校 6 年生が 77 名、中学校 3 年生が 73 名の合計 150 名、実施教科は、国語、算数（数学）の 2 教科です。対象となる児童・生徒が異なるため一概には言えませんが、昨年度の同調査の結果に対して全体的にポイントの上昇がみられ、全国平均と同等、もしくは上回る結果が増えたとみることができます。 ・小学校について 国語、算数ともに県平均を上回り、全国平均に対しても算数はやや下回りましたが、国語は上回っています。昨年度の 12 月に実施された島根県学力調査の結果と比較し、授業改善などが行われていると分析しました。 ・中学校について 国語、算数ともに県平均を上回り、全国平均に対しても数学はやや下回りましたが、国語は約 3 ポイント上回っています。昨年度、実施された島根県学力調査の結果と比較し、数学が改善されたと分析しました。 ・国語について 今回の本調査の結果から小中学校ともに国語の書く力が強みであるとみることができました。条件や文字数に合わせて自分の考えを書くという力がついてくると分析しました。一方、図や絵などの資料を活用し、自分の考えを他者に伝えるように表現を工夫するという点に課題が見られました。
-----	--

	・算数（数学）について 小学校の算数では、四則計算などの「数と計算」について改善傾向がみられました。一方、速さの問題などの「変化と関係」については、課題が見られました。 中学校の数学では、グラフの読み取りなどの「関数」について力がついているとみることができました。一方、nやaなどの文字を用いた「数と式」については、課題が見られました。
教育長	・学習状況調査結果について 「自分には、よいところがありますか」などの設問に対して肯定的な回答をした児童・生徒が非常に多く、全国値と比較して最大、小学校で 25 ポイント、中学校で 12 ポイント高くなっています。これは、学校や家庭、地域が子どもたちを暖かく見守り、支援をするという環境を作り出しており、そのような環境で育つことにより自己肯定感や学校への満足感が高くなっているのではないかと分析しています。 本調査の結果については、7 月の校長会で県の方針を含め、各学校に周知・指導をしています。また、各学校においては、夏季休業中に結果分析などを行い、自校の成果と課題を整理し、2 学期以降の授業づくりに活かすように連絡をしています。 質疑や感想がありましたらお願いいたします。
福田委員	現在、日本の子ども達の自己肯定感は、下がり続けていると言われている中で、奥出雲町のこの結果は誇るべきことだと思います。自分に自信を持たせることで学力を伸ばしていくという指導がされていると思います。今後もこのような指導を教員の皆さんには、していっていただけると嬉しいです。 県教育委員会教育長からの提案ですが、いいか悪いかは別にして一度、自分の中で受け止めて必要なところがあれば積極的に活用していただきたいと思います。
松崎委員	奥出雲町の子ども達の学力がどのように経年変化していっているのかが分かりにくいと感じています。奥出雲町としては、この結果自体をどのように評価しているのですか。
事務局	本調査は対象となる児童・生徒が毎年異なり、合わせて、奥出雲町は受験者数が多くないため、年によって数値に波があります。そのため、数値の増減のみに着目するというのは、教育現場の負担になるのではないかと思います。指導者としては、学習指導要領が求めている資質・能力の育成に資する授業づくりをしていくということは、子どもが変わっても変わらないところですので、数値は 1 つの結果として受け取り、結果を授業改善に活かしていくという方向性がないのではないかと思います。

教育長	傾向としては、成績が上がってきています。県の教育委員会は、学力育成に力を入れており、特に学習の躓きの発見と解決に重点を置いています。
小林委員	奥出雲町の子ども達の自己肯定感が非常に高いという結果を見て安心しています。また、学力も県・全国と比較しても大差なく、教員の皆さんが尽力した結果だと思います。今後も学力が伸びるような授業づくりをお願いしたいと思います。
谷尻委員	自己肯定感が高いことが勉強や部活動に前向きに取り組む気持ちにさせるのではないかと考えています。今後、小学校の再編統合があり、規模が大きくなりますが、今と変わらず子ども達の自己肯定感を高めるような指導を続けて欲しいと思います。
事務局	・令和5年度教育委員会事務点検・評価報告書について ※資料により説明 地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第26条の規定に基づき、点検・評価、報告書の作成・公表を毎年行っています。昨年度いただいたご意見を基に今年度は、報告書の様式を変更しました。次回の定例会の時に議題としてあげさせていただき、ご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 < 次回定例会は9月18日（水）午後3時00分から（予定） > 会 議 録 署 名 署名委員 福田 充 雄 教育長 川 本 健 二